

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業 (地域の自然環境や教育資源を活用した事業)

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業

愛媛県

【事業のポイント】

- 地域の自然環境を活かした体験活動の実施
- 地域の多様な人材を活用し、地域の方々との交流を重視した体験活動の実施



川での生き物採集

1. 企画

(1) 事業実施の背景

子どもたちの自然体験活動を学校における環境教育と関連付けることによって、子どもたちは地域の自然をより深く理解し、地域に愛着をもつことができるようになると考えられる。そこで「森林わくわく体験推進事業」(義務教育課)と連携し、「森はともだち」推進事業指定校である松山市立粟井小学校を含む粟井小学校の校区に地域プラットフォームを形成し、粟井小学校の事業内容と関連付けるとともに、多様な地域人材等を活かした体験活動を実施し、地域全体で子どもたちをよりよく育成しようとする体制作りを努めることとした。

(2) ねらい

地域を基礎として、公民館、学校、行政、青少年教育団体等をネットワーク化することにより、様々な体験活動を円滑に実施できる「地域プラットフォーム」を形成し、地域での持続可能な体験活動推進のしくみをつくとともに、地域の自然をより深く理解し、地域に愛着をもつ子どもを育てる。

2. 実施概要

(1) 地域プラットフォームの構成

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業実行委員会

松山市立粟井小学校PTA会長・副会長、粟井公民館長・館長補佐、松山市立粟井小学校校長・教頭、愛媛の海・山・川事務局長、宅並山を育てる会代表、青少年健全育成会会長・松山市教委地域学習振興課主幹・副主幹

(2) 具体的な取組の概要

体験活動①「鹿島を学ぼう(第20回粟井地区わくわくサマーキャンプの中で実施)」

- (1) 日時 平成28年7月16日(土) 9:00～15:30
- (2) 場所 鹿島
- (3) 参加者 159名(粟井小学校3・4・5・6年生及び保護者、地域住民等)
- (4) 活動の状況

- ① 受付 7:45～
- ② 開会行事 8:00～
- ③ 班会議 8:10～
- ④ 鹿島へ移動 9:00～
- ⑤ 班別活動 9:30～14:30

A班 鹿島を知ろう (博物館見学) 森を知ろう (森・鹿の学習) 昼食 島を巡ろう (周遊船) 海を知ろう (水難救助訓練)	B班 森を知ろう (森・鹿の学習) 鹿島を知ろう (博物館見学) 昼食 海を知ろう (水難救助訓練) 島を巡ろう (周遊船)	C班 島を巡ろう (周遊船) 海を知ろう (水難救助訓練) 昼食 鹿島を知ろう (博物館見学) 森を知ろう (森・鹿の学習)	D班 海を知ろう (水難救助訓練) 島を巡ろう (周遊船) 昼食 森を知ろう (森・鹿の学習) 鹿島を知ろう (博物館見学)
--	--	--	--



森を知ろう(鹿島の鹿・木の現状と対策、頂上からの鳥瞰)



島をめぐる(遊覧船)

鹿島を知ろう(北条鹿島博物館)

海を知ろう(海難救助訓練)

⑥ 離島・帰校 15:30～

【児童の感想】

- 鹿島には、いろいろな種類の植物や木があるが、鹿が食べるため、種類が減ってきていることが分かった。
- いろいろ協力して教えてくれた地域の方々に感謝したい。
- 鹿島の展望台からの景色がきれいだった。

体験活動②「粟井地区わくわく体験—川で遊ぼう・学ぼう—」

- (1)日時 平成28年9月24日(土) 9:00～12:00
- (2)場所 粟井校区内の川
- (3)参加者 19名(粟井小学校3・4・5・6年生及び保護者、地域住民等)
- (4)活動の状況

- ① 受付 8:30～
- ② 開会行事 9:00～
- ③ 講話(川の話「水生生物・水生昆虫について学ぼう」)9:15～
- ④ 粟井川探検・水遊び 9:45～



講師からの説明



中流・河口付近での生き物の採集



採集した生き物の観察



森採集したバケツいっぱいのかに・40cmをこえるちぬ

⑤ 閉会式 11:50～

⑥ 解散 12:00～

【児童の感想】

- いろいろな生き物がいたのでびっくりしました。楽しく仲良く活動できてよかったです。
- 川に入って自分で生き物を捕まえる等、普段できない体験ができてよかったです。
- 一匹も魚が取れませんでしたがとても楽しくて、講師の先生のお話も楽しかったです。
- 次は山に行って生き物の観察をしたいです。川で同じ活動をするとしても参加したいです。
- カニをそんなにたくさん取れると思っていなかったし、そんなに大きい魚が川にいるなんてびっくりしました。

体験活動③「粟井地区わくわく体験 ―山で遊ぼう・学ぼう―」

- (1)日時 平成28年11月5日(土) 9:00～12:00
- (2)場所 宅並山
- (3)参加者 33名(粟井小学校児童及び保護者、地域住民等)

- ① 受付 8:30～
- ② 開会行事 9:00～
- ③ 講話(山の話「宅並山について学ぼう」)9:10～
- ④ 宅並山探検 9:45～



地域・遠景を眺望



説明をうけながらの登山



木の実・種さがし

⑤ 閉会式 11:50～

⑥ 解散 12:00～

【児童の感想】

- たくさん花、いろいろな形や模様の葉など見たことないものをたくさん見て自然を感じました。
- 自分の家や鹿島、松山城が見えてとてもきれいでした。
- 去年植えた桜が元気に育っていてよかった。花が咲いたら家族にも見せたいです。
- 松山は都会と思っていたけれど、自然が多くて驚きました。椿の種を集めておもしろかったです。

【保護者・地域の方々の感想】

- 身近に自然はありますが、今回のような体験はあまりしていないと思います。保護者も楽しみにしており、ぜひこんな機会がまたあればよいです。
- 初めて宅並山に登りましたが、とても登りやすく、美しい景色を見ることができる山があることに感動しました。子どもの楽しそうな姿を見て、私もうれしかったです。
- 地域のつながりの観点でも保護者の交流ができてよかった。
- 一緒に登ったので、今日は家族で話がはずみそうです。
- 北条の街を一望でき、よい思い出となりました。今度は桜の季節に登ってみたいです。
- 説明を聞きながらの登山で勉強になりました。自然との触れ合いが減っている子どもたちに今後も体験の場を継続できればよいと思います。

(3) 実績スケジュール

月 日	内 容
平成28年7月5日	第1回実行委員会
平成28年7月16日	体験活動①「鹿島を学ぼう(第20回粟井地区わくわくサマーキャンプの中で実施)」
平成28年8月8日	第2回実行委員会
平成28年8月22日	体験活動②事前打合せ(講師との打合せ)
平成28年8月29日	第3回実行委員会
平成28年9月23日	体験活動②事前打合せ(現地踏査)
平成28年9月24日	体験活動②「粟井地区わくわく体験 ―川で遊ぼう・学ぼう―」
平成28年10月3日	第4回実行委員会
平成28年10月24日	第5回実行委員会
平成28年11月5日	体験活動③「粟井地区わくわく体験 ―山で遊ぼう・学ぼう―」
平成28年12月1日	第6回実行委員会

3. 成果と課題

(1) 成果

- これまで粟井小学校区で実施していた体験活動を、地域プラットフォームの仕組みの中で見直したことで、多くの地域住民や団体が協力し、子どもたちにダイナミックな体験活動の場を提供することができた。
- PTAや公民館を始め、地域の子どもの取り巻く地域の方たちが互いに力を出し合い、時には専門家の力を借りるなど、プラットフォームのさらなる広がりが期待できるようになった。
- アンケート結果では、本事業の満足度(肯定率)が児童・保護者ともに100%であった。さらに、子どもたちには楽しさだけでなく、ふるさと粟井へのより深い理解と愛着心が育ったことが、事業実施後の感想から伺えた。
- 地域の山、川、海といった自然について体験を通して学ぶ本事業は、現在粟井小学校が研究している「森はとみだち」推進事業を補完することができた。

(2) 課題

- 学校行事・地域の祭りなどの関係で、実施に向けての準備や子どもの参加ができない時期があり、日程の調整を進める上で難しい面があった。
- サマーキャンプに組み込んだ本事業については、今後も継続していく方向であるが、プログラムの内容や活動時間など精選し、改善を図っていかなければならない。
- 今年度は、数日降り続いた雨及び台風による影響について、体験活動前日に現地踏査を行った。季節・天候の状態により、関係者が各自の仕事の時間を調整し、地域に詳しい人材を交えて多面的な角度から安全を確保する必要がある。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

- 今後、補助金の活用など事業継続に向けての予算確保を図る必要がある。

5. 団体プロフィール

愛媛県(教育委員会事務局生涯学習課)
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2
TEL:089-912-2930(直通)
愛媛県ホームページ:<https://www.pref.ehime.jp/>

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業 (地域の自然環境や教育資源を活用した事業)

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業

愛媛県

【事業のポイント】

- 自然豊かなふるさと「野村町」での体験活動の実施
- 地域の自然や文化に親しむ体験活動プログラムづくり
- 地域の大人との交流を重視した体験活動の実施
- 持続可能な体験活動推進の仕組づくり



羅漢穴・大石柱

1. 企画

(1) 事業実施の背景

子どもたちは、地域における自然体験活動を通して、自然をより深く理解し、地域に愛着をもつことができるようになることを考える。そこで野村地区の地域の諸団体(公民館、山奥組、老人会、婦人会、青年団等)が地域プラットフォームを形成し、多様な地域人材等を活かした自然体験活動を実施し、地域全体で子どもたちをよりよく育成しようとする体制作りを努めることとした。

(2) わらい

地域を基礎として、学校、社会教育関係団体、行政、地域の団体等を「ネットワーク化」することにより、様々な体験活動を円滑に実施できる「地域プラットフォーム」を形成し、地域での持続可能な体験活動推進のしくみをつくとともに、地域の自然や文化をより深く理解し、地域に愛着をもつ子どもを育てる。

2. 実施概要

(1) 地域プラットフォームの構成

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業実行委員会

実行委員：野村小PTA会長、野村小職員、野村公民館長、野村公民館主事、野村教育課職員
惣川公民館主事、山奥組会長、野村老人クラブ会長、野村婦人会長、野村青年団長
南予教育事務所社会教育課長、南予教育事務所社会教育課担当者

(2) 具体的な取組の概要

第1回体験活動「ジオパーク探検隊！ ～惣川・大野ヶ原自然探検～」



羅漢穴洞窟探検



大野ヶ原ブナ原生林散策

第1回目の活動は、文化施設土居家の見学、羅漢穴洞窟探検、大野ヶ原ブナ原生林を散策し、西予市のジオガイドに案内・説明をしてもらった。土居家の内部、羅漢穴洞窟の「大石柱」「鍾乳石群」、大野ヶ原ブナ原生林等について、詳しい説明を受けることで、地域の文化や自然に対する理解が深まった。

第2回体験活動「ジオパーク探検隊！ ～ツリークライミング体験～」



竹飯ごうで炊き込みご飯作り



ツリークライミング体験中

第2回目の活動は、野村の「十文田の里山」でツリークライミング体験、竹細工、竹飯ごう炊き込みご飯作りを行った。初めは、ツリークライミングを怖がっていた子どもたちだったが、すぐに慣れどんどん上に登り、楽しく活動することができた。お昼は、竹で作ったはしや器で、炊き込みご飯を食べ、子ども同士、子どもと大人の交流を深めた。

(3)実績スケジュール

月 日	内 容
平成28年6月7日	第1回実行委員会
平成28年6月28日	第2回実行委員会
平成28年7月5日	第1回体験活動事前打合せ
平成28年8月9日	第3回実行委員会
平成28年8月17日	第1回体験活動(西予市野村町惣川・大野ヶ原)
平成28年10月4日	第4回実行委員会
平成28年11月1日	第5回実行委員会
平成28年11月11日	第2回体験活動事前踏査及び準備
平成28年11月20日	第2回体験活動(西予市野村町野村 十文田の里山)
平成28年12月9日	第6回実行委員会

3. 成果と課題

(1) 成果

- 実行委員会を組織することで、学校、行政、地域の諸団体のつながりが深まり、連携がスムーズにとれ、体験活動を行うための体制が整った。
- 体験活動を企画・運営することで、体験活動のプログラムを確立することができた。
- 参加児童が地域の文化や自然に興味をもち、故郷をもっと知ろうという意欲が高まった。
- 他校の児童や地域の方との交流が深まった。
- 今後の体験活動にも参加したいという意欲的な児童が多く見られた。

(2) 課題

- 初年度しか予算がつかないため、2年目以降の活動を行う際の予算の確保が難しい。
- 広報等で活動を啓発し、参加者や協力者を増やしていくとより充実した体験活動が行えると考えられる。
- 参加者(子ども、実行委員)の負担にならないよう、開催時期・内容・役割分担を工夫していかなくてはならない。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

- 野村公民館と惣川公民館に「のむらチャレンジ隊」、「そうがわチャレンジ隊」があり、それぞれ体験活動を行っている。実行委員は、必要に応じて活動に参加・協力していく。
- 今回の2回の体験活動のプログラムを今後も生かして活動していく。
- 独立行政法人等の助成金を申請し、予算を確保する。
- 西予市は自然環境に恵まれ、「四国西予ジオパーク」に認定されており、ジオを生かした多彩な体験活動が期待できる。
- 野村地区の3つの小学校の交流の場となるよう活動を工夫する。

5. 団体プロフィール

愛媛県(教育委員会事務局生涯学習課)

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2

TEL: 089-912-2930(直通)

愛媛県ホームページ: <https://www.pref.ehime.jp/>

体験活動地域プラットフォーム形成支援事業実行委員会

野村公民館内にある野村教育課主任が実行委員長、野村公民館主事が副実行委員長になっている。また、実行委員には、野村小教務主任、老人会長、婦人会長、青年団長、地域の里山保全を行っている山奥組会長、惣川公民館主事等、地域の団体の中心になって活動を行っている方が実行委員になっている。

体験活動の内容に応じて、各団体のメンバーが参加し、活動を行っている。

連絡先：南予教育事務所社会教育課(担当：武岡)
TEL0895-22-5111 Fax0895-22-1336



体験活動開会式